

令和8年度毛呂山町一般会計当初予算案の概要



毛呂山町マスコットキャラクター
もろ丸くん

FOR THE
FUTURE

令和8年度毛呂山町一般会計当初予算案

予算総額

120億3千万円

(対前年度比 2億2千400万円 +1.9%)

当初予算額としては

2年連続 **過去最大規模**

令和8年度当初予算キャッチフレーズは…

**日本一やさしいまちへの挑戦！
安全・安心な暮らしを守り、
未来につなぐ課題解決型予算**



令和8年度毛呂山町一般会計当初予算案

基本理念・基本方針

町の将来像「みんなでつくる 住みやすいまち
住み続けたいまち もろやま」の実現

毛呂山町に「住みたい」「住み続けたい」と思っていただけるまちを住民の皆さまとともに目指します

リーディングプロジェクトの実現

毛呂山町では、少子化対策・教育施策の充実・健幸づくりを5年間（令和7年度～11年度）で重点的に取り組むテーマとして、第六次総合振興計画前期基本計画にリーディングプロジェクトに掲げています。

人口減少下において、少子化など町の重要課題に向き合い、包括的な取組を進めます。

誰もが安全・安心に暮らせる毛呂山づくり

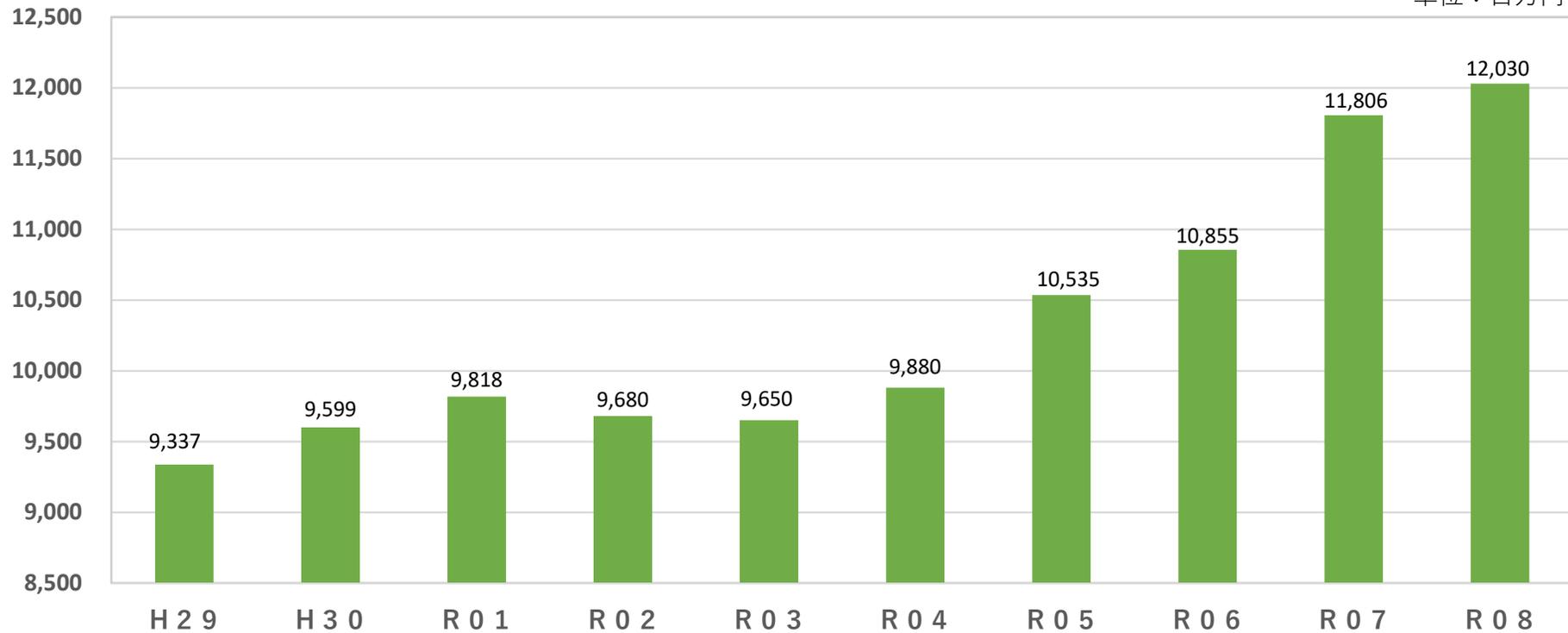
毛呂山町では、毎日安全に安心して暮らせる＝「住みやすい」「住み続けたい」の基盤になると考えます。令和8年度は水害対策や道路整備事業など安全な暮らしを守る取組や住民生活の安心のための事業を実施します。

一般会計当初予算額の推移

単位：百万円・%

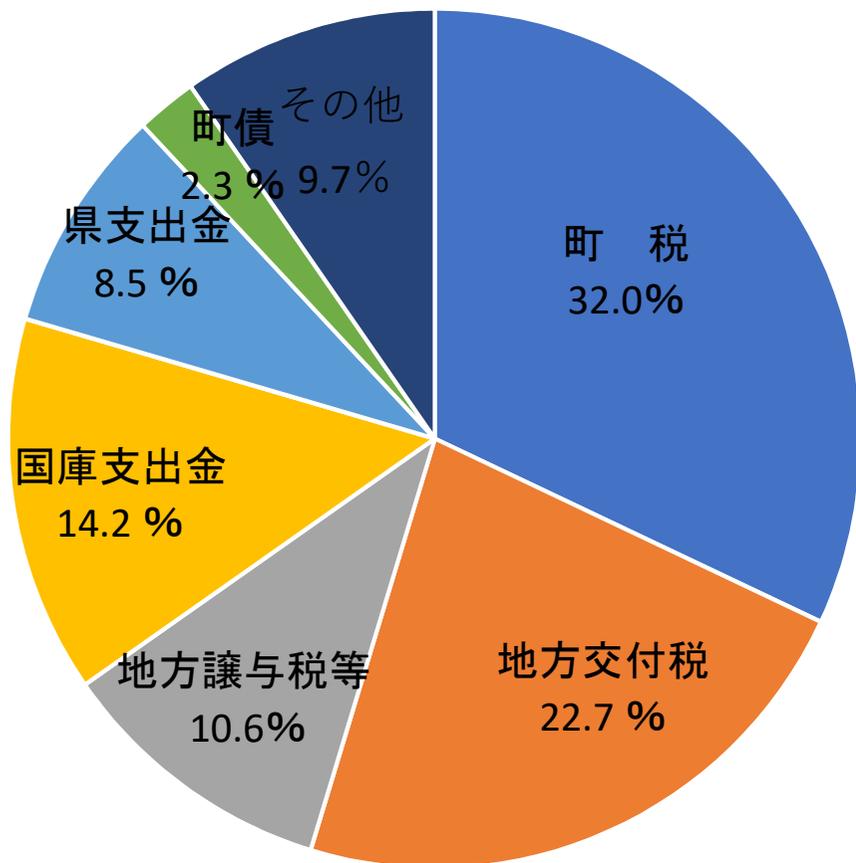
年度	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08
規模	9,337	9,599	9,818	9,680	9,650	9,880	10,535	10,855	11,806	12,030
伸率	△ 8.0	2.8	2.3	△ 1.4	△ 0.3	2.4	6.6	3.0	8.8	1.9

単位：百万円



歳入予算について

歳入構成比



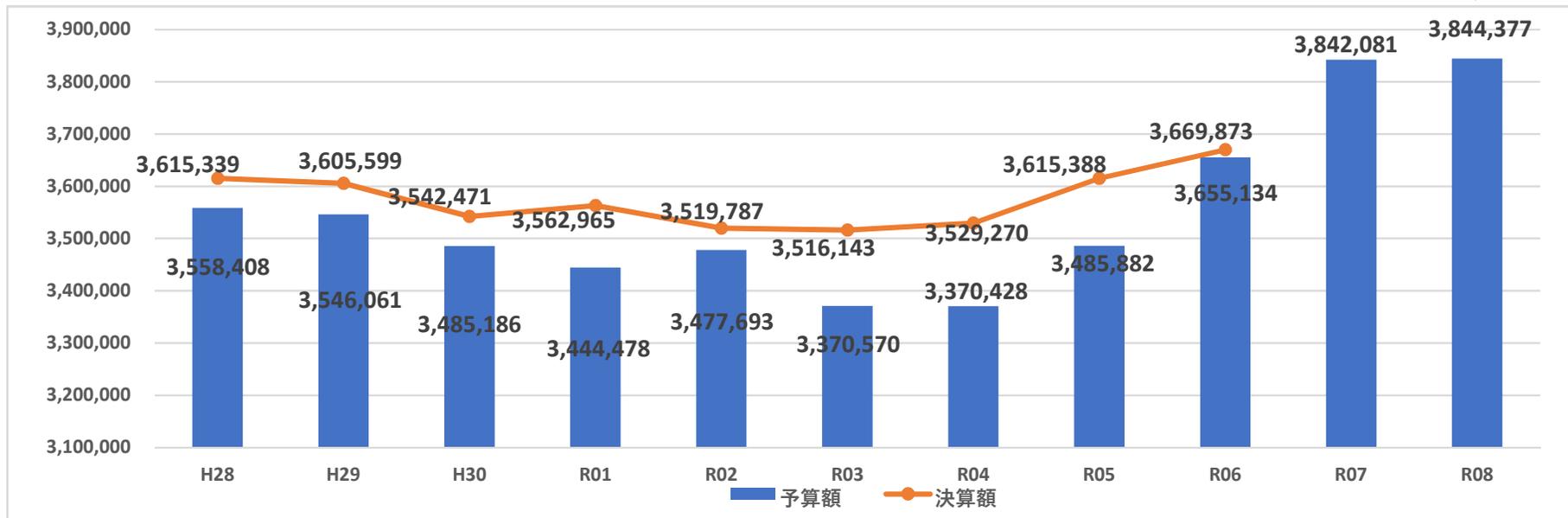
款 別	令和 8 年度		
	予算額 (千円)	構成比 (%)	
町税	3,844,377	32.0	
地方交付税	2,736,000	22.7	
国庫支出金	1,710,490	14.2	
地方譲与税等	1,270,418	10.6	
県支出金	1,018,760	8.5	
町債	282,600	2.3	
その他	繰入金	664,246	5.5
	繰越金	150,000	1.2
	寄附金	114,302	0.9
	諸収入	83,783	0.7
	分担金及び負担金	78,377	0.7
	使用料及び手数料	67,011	0.6
	財産収入	9,636	0.1
合 計	12,030,000	100.0	

町税の内訳と推移

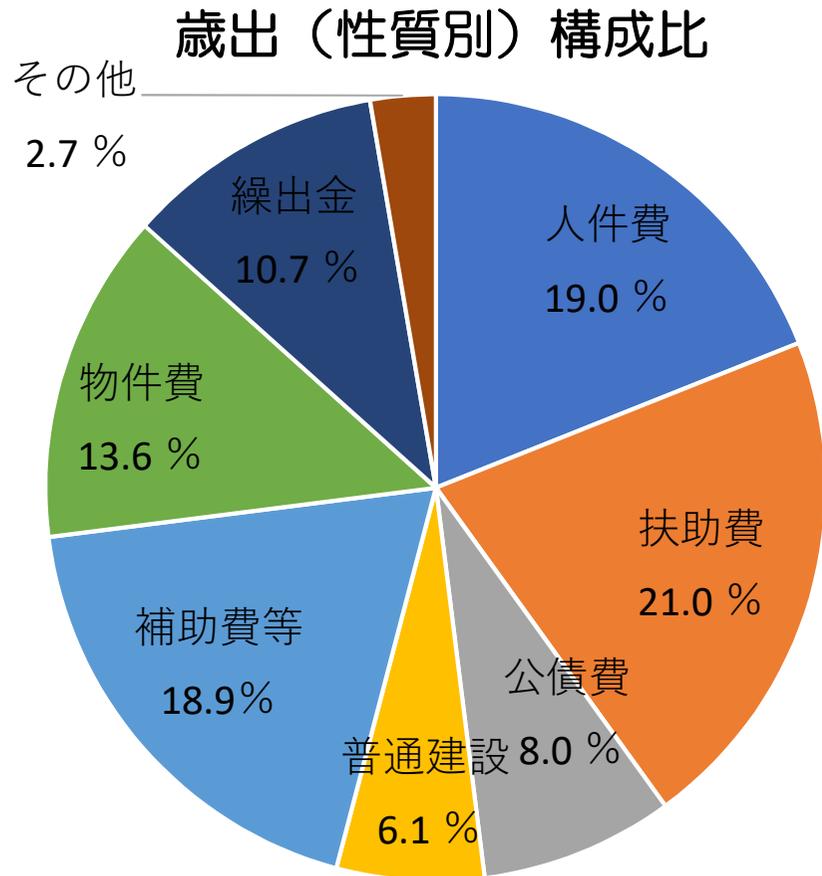
項別	令和 8 年度		令和 7 年度		比較増減	
	予算額 (千円)	構成比 (%)	予算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸率 (%)
町民税	1,754,728	45.6	1,720,850	44.8	33,878	2.0
固定資産税	1,659,314	43.2	1,664,507	43.3	△5,193	△0.3
軽自動車税	105,724	2.7	108,908	2.8	△3,184	△2.9
町たばこ税	213,669	5.6	237,013	6.2	△23,344	△9.8
都市計画税	110,942	2.9	110,803	2.9	139	0.1
合 計	3,844,377	100.0	3,842,081	100.0	2,296	0.1

町税（当初予算額と決算額）の推移

(単位：千円)



歳出（性質別）のポイント

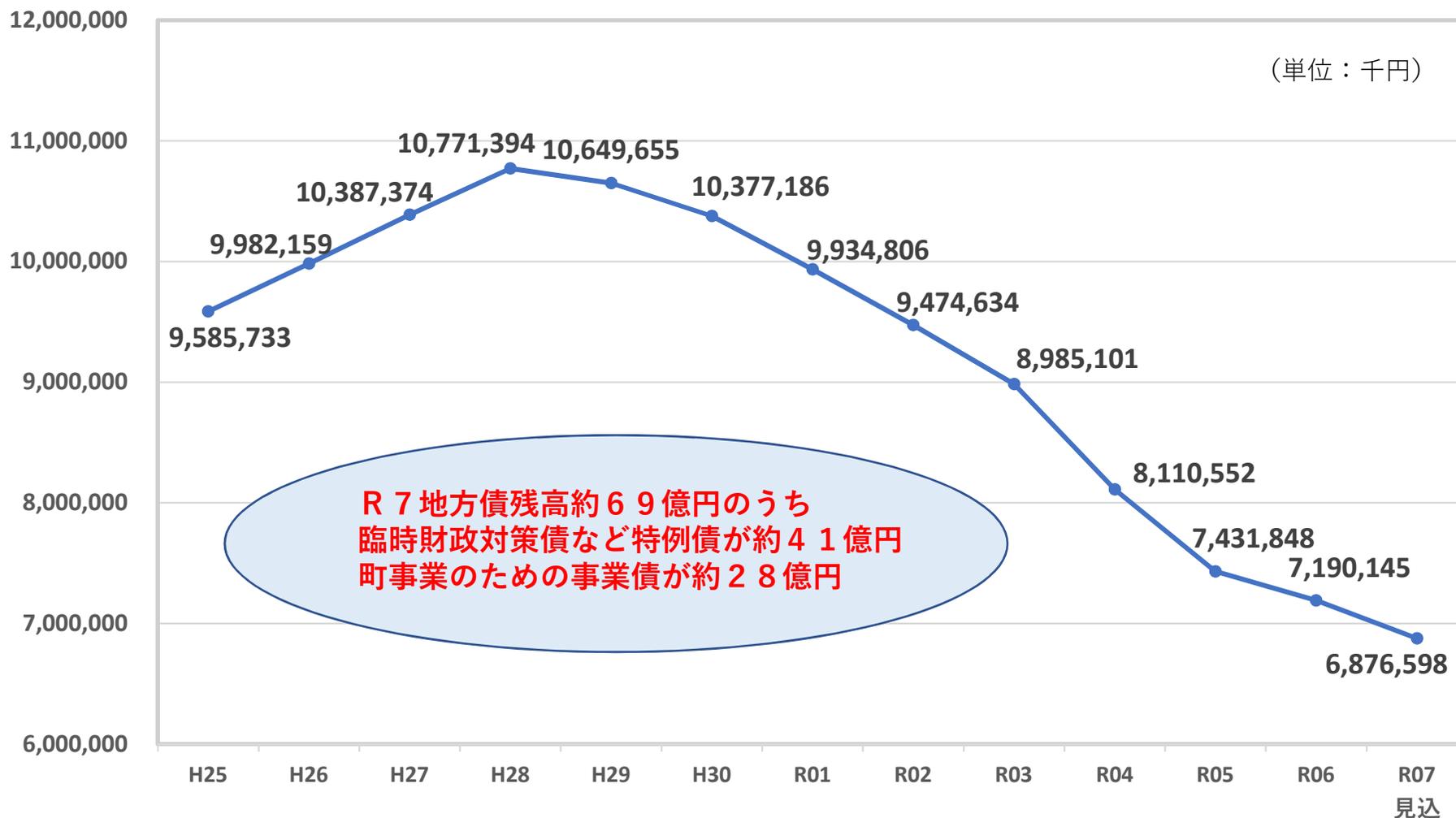


補助費の構成比が全体の21.0%と高い割合となっている。人件費、公債費を含めた義務的経費全体では48.0%と歳出全体の約半分を占めている。義務的経費が増えるほど投資的経費の捻出が困難となる。施設の老朽化が進む中、義務的経費を抑えつつ投資的経費の財源を確保することが課題となっている。

区分		令和 8 年度		
		予算額 (千円)	構成比 (%)	
消費的経費	義務費	人件費	2,285,182	19.0
		扶助費	2,524,566	21.0
		公債費	967,328	8.0
	小 計 (義務的経費)		5,777,076	48.0
	物件費		1,637,100	13.6
	維持補修費		21,994	0.2
	補助費等		2,277,216	18.9
小 計 (消費的経費)		9,713,386	80.7	
投資的経費	普通建設	補助事業費	502,006	4.2
		単独事業費	222,710	1.9
	その他の事業費		0	0.0
	災害復旧事業費		6	0.0
	小 計 (投資的経費)		724,722	6.1
その他経費	積立金		282,196	2.3
	投資及び出資金		0	0.0
	貸付金		3,500	0.0
	繰出金		1,286,196	10.7
	予備費		20,000	0.2
	小 計 (その他経費)		1,591,892	13.2
合 計		12,030,000	100.0	

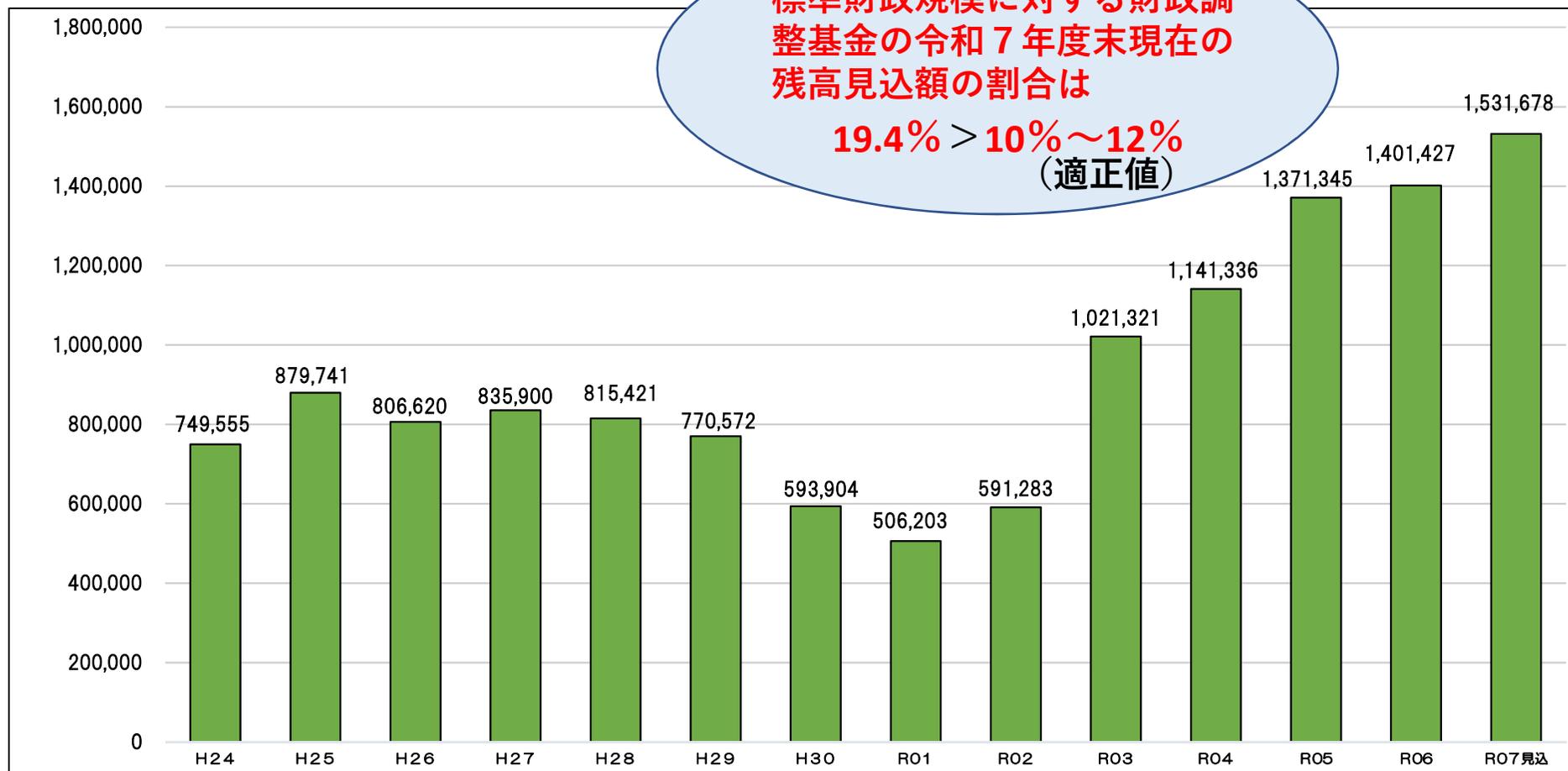
地方債の残高について

地方債残高の推移（各年度末）



基金の現状について

【財政調整基金残高の推移（各年度末）】



※財政調整基金は、年度間の財源の不均衡を調整するための積立金で、一般的に標準財政規模の10%~12%が適正保有額とされている。本町における標準財政規模に対する財政調整基金の残高見込額の割合は19.4%であり、必要十分な額を満たしていると言える。

新規・重点事業の概要

リーディングプロジェクトの実現

-①少子化対策②未来を担う子ども育成③健幸づくりの推進-

令和8年度毛呂山町一般会計当初予算（案）

FOR THE
FUTURE

新規・重点事業の概要

① 少子化対策プロジェクト －子育てをしたいと思われるまちへ－

令和 8 年度毛呂山町一般会計当初予算（案）

FOR THE
FUTURE

新規・重点事業の概要

令和 8 年度

重点事業概要書

企画財政課

企画係

事業名

未来応援奨学金返還支援事業【拡充】

事業概要

事業費

8, 220 千円 (うち一般財源 8, 220 千円)

令和 8 年 4 月 1 日から

毛呂山町未来応援奨学金返還支援事業を**拡充**する

拡充
内容

- ①補助期間の延長
- ②保育士にインセンティブ

利用実績

R4 : 41件 R5 : 54件 R6 : 63件 R7 : 84件

拡充内容

拡充内容	現行	令和 8 年度～	期待される効果
①補助期間の延長	5 年間	10 年間 (上限 10 万円)	補助期間を 10 年間にすることにより若年層の定住促進を図る。
②保育士 (※) にインセンティブ	—	10 年間 (上限 15 万円)	インセンティブにより保育士の確保及び定住を図る。

(※) …町内の認可保育所に正規職員として勤務する町内在住の保育士

拡充対象

- 令和 8 年度以前に初回の申請をした方も補助期間が 10 年間となる。
- 令和 8 年度以前に補助金の交付を受けている方の補助対象期間は、最初の申請年度から起算して 10 年間となる。
(例)令和 6 年度初年度申請→令和 15 年度まで申請可能。

【参考】現行制度

- 補助対象者
 - ・在学中に奨学金の貸与を受け、奨学金の返済を滞りなく行っている、満 30 歳未満の方(本町への住民登録が必要)
 - ・1 年以上正規職員として雇用されている方 など
- 対象となる奨学金
 - 日本学生支援機構第一種、第二種奨学金 など
- 補助額
 - 1 年度内に返還すべき奨学金の返還金額の 3 分の 2 以内の額(上限 10 万円)

新規・重点事業の概要

令和 8 年度

新規事業概要書

こども家庭センター

母子保健係

事業名

チャットでかんたんドクター相談事業

事業概要

事業費

1, 4 4 9 千円 (うち一般財源 3 6 3 千円)

● 目的

24時間365日いつでも気軽に医師に相談できる住民向け「医療相談アプリ」を導入することで安心して子育てができるようにする。

● 対象者

妊婦から12歳児のいる家庭 (1,100世帯)

乳幼児健診にてチャット相談の利用希望を確認したところ **9割以上** が利用希望あり。
電話するほどでもない事や休診日に確認したいという意見があった。

● 導入アプリLEBER (リーバー) について

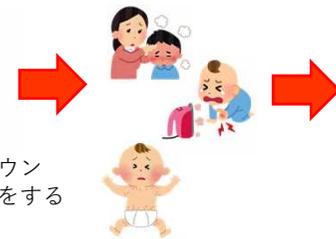
- 全国430名以上、56診療科の医師が登録されており、さまざまな相談に対応できる。
- 相談をすると8割が15分以内に回答がある。
- 皮膚の湿疹やけいれんの様子を写真や動画で送れるため電話より状況を詳しく伝えやすい。

● 利用方法

1 アプリ登録 2 体調不良等 3 チャット相談 4 医師が回答



アプリをダウンロードし登録をする



● 事業額 ※全て税込み

歳出額合計 1, 4 4 9 千円

初期費用 (アカウント制作料+通信運搬費) : 261千円 《初年度のみ》
利用料 : 1か月9万円×12か月×1.1=1,188千円

歳入額合計 1, 0 8 6 千円

子ども・子育て支援交付金 (国1/2、県1/4)
⇒国724千円、県362千円

新規・重点事業の概要

令和8年度

新規事業概要書

こども家庭センター

子育て支援係

事業名

チャイルドシート購入費助成事業

事業概要

事業費

607千円（うち一般財源607千円）

出生から6歳未満の乳幼児一人につき1回、チャイルドシートの購入費に対して助成を行う。

 対象者・助成金額・回数

対象者	出生から6歳未満の乳幼児
助成金額	購入金額（税込み）× 1/2 （上限1万円）
助成回数	1人につき1回 まで

新生児用だけでなく
ジュニアシートを購入
することも可能！



 事業により見込まれる効果

出産退院時から必要なチャイルドシートの購入に対する助成を行うことで、**子育て世帯の経済的負担の軽減**を図るとともに、**子どもの尊い生命を交通事故から守る**。



交通事故から
子どもの命を守る



子育て家庭の
経済的支援



△ 道路交通法 △

6歳未満の幼児を自動車に乗せる際、チャイルドシートの着用が義務づけられている。

 歳出予算額

歳出予算額：607千円

助成金 60人×10,000円=600,000円

通信運搬費（決定通知） 60人×110円=6,600円

新規・重点事業の概要

令和8年度

新規事業概要書

こども家庭センター

母子保健係

事業名

1か月児健康診査費用助成・5歳児健康診査事業

事業概要

事業費

1,075千円（うち一般財源592千円）

子どもの心身の健やかな成長を支え、切れ目ない支援を行うため、1か月児健康診査費用の助成並びに5歳児健康診査を実施する。

1か月児健診

1人4千円を助成

対象	生後1か月頃の乳児 (令和8年4月1日以降に実施された1か月児健診分から助成開始)
実施方法 内容	出産した医療機関での個別健診 診察、身体計測等
助成金額	4千円/人



事業額

歳出額（委託料・通信運搬費等） **421千円**
 歳入合計（受診者104人×4千円の1/2） **208千円**

5歳児健診

受診料無料の集団健診の実施

対象	5歳頃の幼児
実施方法 内容	集団健診（受信料無料） 発育・発達の確認、専門相談の実施。また早期支援をするための連携



事業額

歳出額（報償費・通信運搬費等 年間7回実施として） **654千円**
 歳入合計（受診者110人×5千円の1/2） **275千円**

※両事業とも上限額の1/2国庫補助（母子保健衛生費国庫補助金）

新規・重点事業の概要

令和 8 年度

重点事業概要書

学校給食センター

管理係

事業名

小中学校給食費無償化事業

事業概要

事業費

103,335千円（うち一般財源50,769千円）

町立小中学校に在学する児童・生徒の学校給食費を無償化することで、子育て世帯の経済的負担を軽減する。

事業費

賄材料費 103,335千円

小学生分：58,431千円

中学生分：44,904千円



※小学生分については、給食費負担軽減交付金52,566千円を活用する。

対象者

町立小中学校に在学する児童・生徒

事業効果

町立小中学校の給食費無償化により子育て世帯の経済的負担軽減を図るとともに、安心して子育てができる環境づくりの推進を図る。

毛呂山町が実施する子育て支援（給食関連）

保育所等給食費無償化事業

・保育所等で提供する主食及び副食費の保護者負担分を補助

特別支援学校給食費補助事業

・特別支援学校に在籍する児童生徒の保護者に対し学校給食費を補助

学校給食代替食補助事業

・食物アレルギー等の理由により学校給食の代替食の経費に対する補助



新規・重点事業の概要

令和8年度

新規事業概要書

学校教育課

学務係

事業名

小中学校入学準備補助事業

事業概要

事業費

13,582千円（うち一般財源13,582千円）

小・中学校入学時における子育て世帯の経済的負担の軽減並びに子育て支援の充実を図ることを目的に、町立小中学校・特別支援学校の新1年生に入学準備補助金を交付する。

小学校入学時 2万円
中学校入学時 5万円
を交付！

補助対象者について

当該年度の4月1日現在において町内に住所を有し、町立小・中学校及び特別支援学校（以下「小・中学校等」）に1年生として入学する児童、生徒の保護者

申請の流れ

- ・申請者（保護者）は、申請書を町へ提出する。
- ・町は、申請された内容を審査し、入学準備補助金を支給する。

実施スケジュール（案）

- 4月：小・中学校入学準備補助金申請書を保護者へ配布。
町は、申請者（保護者）から提出された申請書を審査し、支給（却下）通知書を申請者へ通知する。
- 5月：町は、申請者が指定した口座に振込の方法で入学準備補助金を交付する。

歳出額の内訳



【小学校】

■入学準備補助金 2,780千円 + 通信運搬費 1千円

- ①入学準備補助金
 - ②町立小学校新1年生の人数
 - ③転入生見込み
 - ④特別支援学校新1年生の人数
- ①20,000円 × (②132人 + ③4人 + ④3人) = 2,780,000円

【中学校】

■入学準備補助金 10,800千円 + 通信運搬費 1千円

- ①入学準備補助金
 - ②R7町立小学校6年生の人数
 - ③転入生見込み
 - ④特別支援学校6年生の人数
- ①50,000円 × (②208人 + ③4人 + ④4人) = 10,800,000円

新規・重点事業の概要

令和8年度

新規事業概要書

秘書広報課

広報広聴係

事業名

シティプロモーション事業

事業概要

事業費

1,243千円（うち一般財源1,243千円）

町の公式メディアでの発信や報道各社へのプレスリリースなど、官民双方の媒体を活用して、町の取組や施策、魅力や強みを町内外に広く発信し、地域の発展や経済の活性化、認知度向上につなげる。

①アンバサダー制度

毛呂山町の魅力をInstagramで広く発信してくれるアンバサダーを任命し、町のPRにつなげ、認知度向上を図る。



②動画制作

毛呂山町のPR動画を製作し、町のHPやSNSでの発信や、イベント時等の動画素材として活用し、町の魅力を視覚的に発信する。



予算：693千円（委託料）

構成案（30秒版と15秒版をそれぞれ作成）

- ①「子育てパッケージ&移住定住」編
- ②流鏝馬や桂木ゆず、出雲伊波比神社、鎌倉街道など、「まちの見どころ」編
- ③「医療と福祉のまち」編
（医大・医療機関・店舗・ワーキング事業など）
- ④「鎌倉街道上道×毛呂季光×流鏝馬」の悠久を紡ぐ「毛呂山歴史ロマン」編

③交通広告出稿

「子育てパッケージ&移住定住編」のPR動画（15秒版）を東武東上線などのトレインビジョンで放映し、沿線を利用する県内外の不特定多数の方々にアプローチし、町の施策の浸透を図る。

予算：550千円（役務費）

※期間は1週間、運行中9分に1回放映
※東武東上線沿線1日平均乗降人員
→1,855,748人（R6実績）



新規・重点事業の概要

②未来を担う子ども育成プロジェクト

－町の財産である子どもたちが健やかに育つまちへ－

令和8年度毛呂山町一般会計当初予算（案）

FOR THE
FUTURE

新規・重点事業の概要

令和 8 年度

重点事業概要書

学校教育課

指導係

事業名

毛呂山町ステップアップ教室

事業概要

事業費

16,841千円（うち一般財源16,841千円）

多様なニーズを持つ児童に対する外部講師によるグループ別指導を通して、「**できた喜び**」を実感してもらい、**自己肯定感**を育むことで、**基礎学力の定着**と**学習習慣の確立**を目指す。

ステップアップ教室カリキュラム

	月曜日	金曜日		夏期講習
14:50~15:35	英語	授業	9:00~9:45	算数
15:35~15:45	休憩	休憩	9:45~10:00	休憩
15:45~16:30	国語	算数	10:00~10:45	国語

- 1 民間学習塾のノウハウを活かし、個々のレベルに応じた学習教材（プリント）を使用した学習を実施
※外部講師によるグループ別指導
- 2 アンケート（学期1回）や学習状況確認テスト（月1回）を実施し、個々の傾向を分析した学習設計
- 3 夏季休業中にオンライン夏期講習（5日間）を実施

対象児童と学習内容

- <対象児童> 小学5・6年生
<学習内容> 国語・算数・英語
英語は英検5級程度の学習



ステップアップ教室導入のメリット

<参加児童より>

テストの点数が上がった！
54%
（アンケート結果）

わからない問題が解けるようになった！
66%
（アンケート結果）

学校の成績が上がった！（国語・算数）
72%
（学校教育課調査）

<夏期講習>

オンラインで実施
期間限定での新規参加者募集



より多くの児童に
つまずきに応じた
学習機会を提供できる。

新規・重点事業の概要

令和 8 年度

重点事業概要書

学校教育課

指導係

事業名

町立中学校修学旅行費補助事業

事業概要

事業費

13,440千円（うち一般財源13,440千円）

子どもたちを笑顔に！町立中学校の修学旅行費を全額補助！

対 象：町立中学校において実施する修学旅行参加生徒の保護者

事業費：補助金 13,440千円（70,000円×192人）

申請等：保護者は、補助金申請に対する申請、実績報告などを行う権限を学校長に委任し、委任を受けた校長が事業計画や事業経費一覧を作成し、町に対して申請、事業実施、実績報告等を行う。



毛呂山町立中学校で学ぶ子どもたちの素敵な思い出づくりを町がサポート

企業誘致施策の成果を子どもたちに還元し、子育て支援策を充実
第六次毛呂山町総合振興計画で掲げる町の将来像の実現を目指す

子育て世帯の経済的負担軽減

子どもたちの健全育成

町への愛着形成

「子育てしたいまち」としての魅力向上

新規・重点事業の概要

令和8年度

重点事業概要書

教育委員会

教育センター

事業名

中学生海外留学事業 ※令和8年度留学実施分

事業概要

事業費

8,653千円（うち一般財源8,653千円）

海外留学により異文化理解を深め、豊かな人間性、国際感覚、コミュニケーション能力や英語力の向上を図る。

【留学先】 オーストラリア連邦
クイーンズランド州 ブリスベン

【事業効果】 ■交流を通じた豊かな人間性や国際感覚の育成
■幅広い視野やコミュニケーション能力の育成
■基礎学力、英語力の向上

【留学期間】 令和8年7月27日(月)～8月3日(月) 8日間

【対象者】 町内中学校在籍で留学実施時第2学年の生徒10名
引率者(教職員)2名 合計12名

【事業内容】 現地校での交換・交流プログラム
ホームステイによる生活体験
語学学校での英語学習、教育文化施設等の視察

【事業費】 委託料（債務負担行為） 8,653千円

令和7年度中学生海外留学事業の様子



♪参加した中学生の声♪

「貴重な体験になった」

「今後の生活や将来に活かしたい」

新規・重点事業の概要

令和 8 年度

新規事業概要書

教育総務課

管理係

事業名

毛呂山小学校大規模改修工事設計業務委託

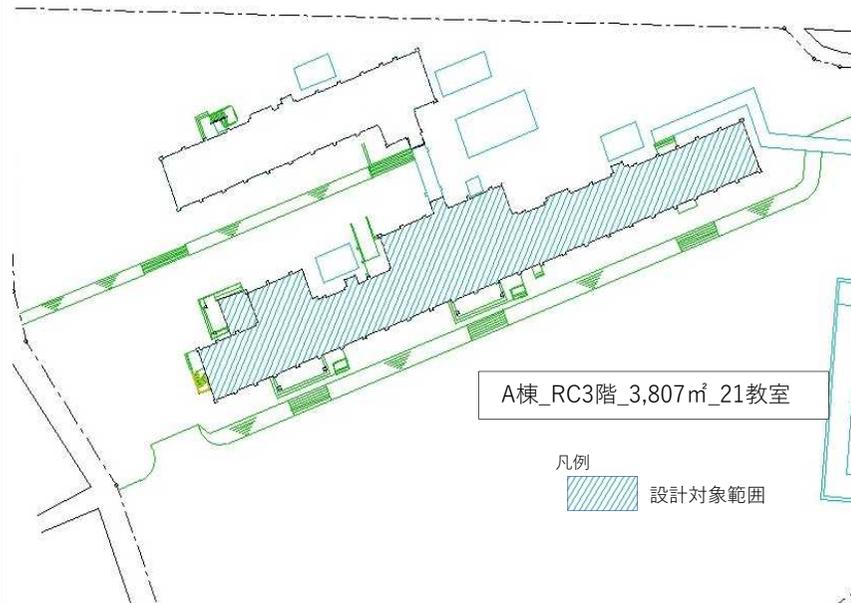
※学校教育施設等整備事業債（充当率75%、交付税措置率50%）

事業概要

事業費

44,770千円（うち一般財源11,270千円）

「毛呂山町立小・中学校編成計画」に基づき、毛呂山小学校の大規模改修を施工するため、実施設計業務を実施する。学校施設は建築後約50年が経過しており、老朽化が進行していることから、劣化状況調査を行い、その結果を踏まえ、改修内容を決定する。



※R11～R13 児童・学級数計算値（特別支援含む）

事業内容① 劣化状況調査

- ・外壁調査 目視調査、打診調査、劣化図作成等
- ・コンクリート強度調査 コア採取、圧縮試験、中性化試験 9カ所
- ・構造、防水、設備等の調査

事業内容② 主な予定改修内容

- 建築工事
 - ・内装木質化、教室ロッカー及び建具の改修、据付家具の新設
 - ・エレベーター新設
 - ・屋上防水・外壁改修 など
- 電気設備工事
 - ・照明器具のLED化
 - ・受変電設備の更新 など
- 機械設備工事
 - ・受水槽及び給排水設備並びに衛生設備の更新
 - ・空調設備の更新 など

新規・重点事業の概要

③健幸づくりプロジェクト

—幅広い世代が心身ともに健やかに暮らせるまちへ—

令和8年度毛呂山町一般会計当初予算（案）

FOR THE
FUTURE

新規・重点事業の概要

令和 8 年度

重点事業概要書

生涯学習課

スポーツ振興係

事業名

ゆずの里健幸ウォーク事業

事業概要

事業費

2, 816 千円 (うち一般財源 2, 816 千円)



“歩いて健幸”を合い言葉に！

毛呂山町の特産である“桂木ゆず”の旬の時期に町内外問わず参加できるウォーキングイベントを実施する。

ただ歩くだけでなく、健幸にちなんだ測定ブースや毛呂山町の特産品等の物販を行い、地域の健康と観光を両立したイベントとする。



イベント

- ・開会セレモニーの実施、連携大学による医学的知見に基づいたウォーキングについてのアドバイス・激励の言葉
- ・毛呂山町オリジナル健康体操やインボディ測定等の健康測定会
- ・キッチンカーや物販の催しの開催

参加したい！歩きたい！と思うイベントを目指す。



コース

参加者の体力や目的に応じて選択できるようゆずの香りと景観を楽しむ特色のあるコースを用意する。



概要

日 時:令和 8 年 11 月 23 日
午前 9 時～15 時

参加費:500円(小学生以下無料)

募 集:事前申込・当日申込

町内ウォーキングイベント

毛呂山町では、1年を通じてウォーキングを楽しんでいただく環境づくりを進めており、各種イベントを開催している。

- ・歩こうよ！健幸ウォーキング事業
- ・もろやま LINEで健幸デジウォーク
- ・季光(すえみつ)ウォーク
- ・鎌倉街道健幸ウォーク 等

新規・重点事業の概要

令和8年度

重点事業概要書

生涯学習課・保健センター

スポーツ振興係・保健係

事業名

町内健幸ウォーキング事業

事業概要

事業費

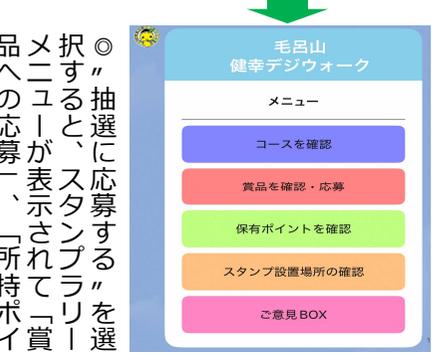
141千円（うち一般財源141千円）

■概要 「もろやま健幸ウォーキングマップ」10コースを利用し、LINE(GovTech Express)のチェックイン機能を活用したデジタルスタンプラリーを実施する。年間を通して複数の地点でチェックインを行い、2次元コードを読み込むと1ポイント貯まり、ポイントに応じた景品が当たる抽選に応募することができる。また、毛呂山町健康マイレージとも紐付け、ポイント変換もできるようにする。



春と秋のウォーキングイベント

近隣の大学と連携した**ウォーキング&体力測定チャレンジ**を実施する。
参加費無料でウォーキングや体力測定などを行い、体力測定に応じた個別アドバイスを受けることができる。



◎応募するコースを選択すると、記載されているポイント消費し、各コースの応募手続きが行える

◎「抽選に応募する」を選択すると、スタンプラリーメニューが表示されて「賞品への応募」、「所持ポイントの確認」、「ポイント検索」等が可能となる

新規・重点事業の概要

誰もが安全・安心に暮らせる毛呂山づくり

令和8年度毛呂山町一般会計当初予算（案）

FOR THE
FUTURE

新規・重点事業の概要

令和 8 年度

新規事業概要書

まちづくり整備課

道路工務係

事業名

旭台地区雨水排水対策事業（旭台地内）

※緊急自然災害防止対策事業債（充当率100%、交付税措置率70%）

事業概要

事業費

74,910千円（うち一般財源10千円）

大雨時の道路冠水被害解消に向け、調整池及び側溝整備工事を実施する。

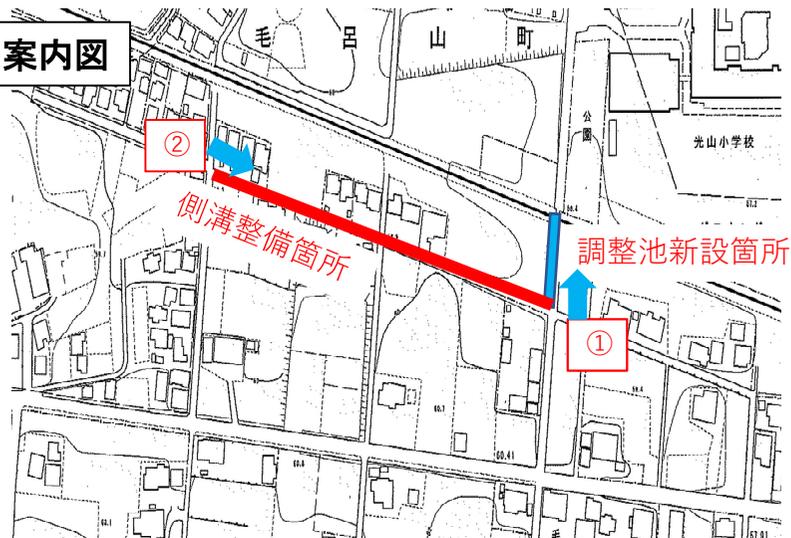
概要：当該地区は、大雨時に慢性的な道路冠水被害が生じ地域住民の生活に支障を及ぼしているため、令和7年度に実施した詳細設計の成果を基に、調整池を新設するとともに、冠水エリアから調整池までの側溝整備を実施する。

調整池新設工事 一式（ $A=450\text{m}^2$ 、 $V=280\text{m}^3$ ） オープン式貯留 底面：CO張り

側面：擁壁（1.0~1.5m） 側溝整備 一式（可変側溝 500×500 L=230m）

効果：当該地区の慢性的な雨水災害解消により、地域住民の安全を守る。

案内図



現場写真



現況（案内図①）



現況（案内図②）

新規・重点事業の概要

令和 8 年度

新規事業概要書

まちづくり整備課

道路工務係

事業名

第四団地雨水排水対策詳細設計業務委託（中央 3 丁目地内）

※緊急自然災害防止対策事業債（充当率 100%、交付税措置率 70%）

事業概要

事業費

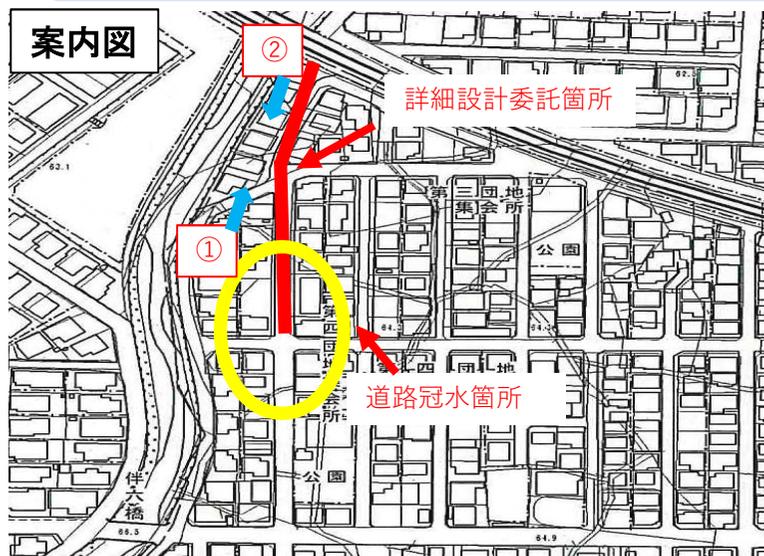
5,900 千円（うち一般財源 0 千円）

大雨時の道路冠水被害解消に向け、排水構造物等を整備するための詳細設計委託を実施する。

概要：当該地区は、大雨時に慢性的な道路冠水被害が生じ地域住民の生活に支障を及ぼしているため、令和 8 年度に排水構造物等を整備するための詳細設計委託を実施する。

道路詳細設計業務 L=120.0m 雨水管新設、側溝入替等

効果：当該地区の慢性的な雨水災害解消により、地域住民の安全を守る。



現場写真



現況（案内図①）



現況（案内図②）

新規・重点事業の概要

令和 8 年度

新規事業概要書

まちづくり整備課

道路工務係

事業名

岡本団地内水路嵩上事業（前久保地内）

※緊急自然災害防止対策事業債（充当率100%、交付税措置率70%）

事業概要

事業費

4,940千円（うち一般財源40千円）

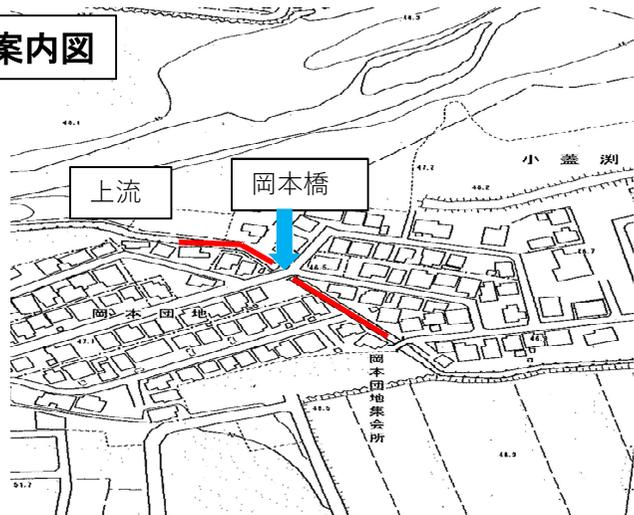
岡本橋周辺の水路護岸について嵩上工事を実施する。

概要：大雨時や台風時に水路が溢水し、岡本橋周辺地域に被害が生じている。
過去に水路曲部の断面を拡幅し、一部改善は図ってきたが、引き続き岡本橋周辺の対策を実施する必要があるため、岡本橋周辺の水路護岸について嵩上工事を実施する。

工事延長 L=80.0m 水路嵩上延長 L=80.0m(片側 高さ0.3m~0.4m)

効果：岡本橋を中心とした水路からの溢水を防ぎ、地域住民の安全を守る。

案内図



現場写真



岡本橋から上流側の現状



岡本橋から下流側の現状

新規・重点事業の概要

令和8年度

新規事業概要書

まちづくり整備課

道路工務係

事業名

川角中学校南側交差点雨水排水対策調査業務委託（川角・市場地内）

事業概要

事業費

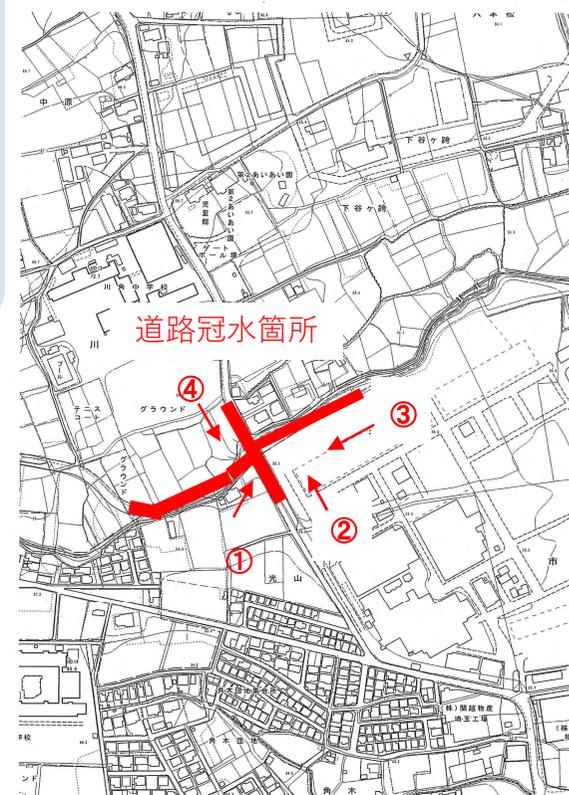
7,774千円（うち一般財源7,774千円）

川角中学校南側交差点の道路冠水を解消するための現地調査を行う。

概要：大雨時や台風時、町道第7号路線（川角中学校南側交差点）は、慢性的な冠水エリアとして道路利用者や地域住民に多大な被害をもたらしている。ソフト面においては、冠水注意の路面標示や、ネット上で当該箇所の冠水状況を閲覧できる監視カメラシステムの設置等を行い、ハード面では集水樹の入替え、下流の水量確保などを実施してきたが、大雨時の流量を抑制する必要があるため、現地調査を実施する。

効果：現地調査を実施後、複数の解消工法を検討し、最適な工法を選定する。併せて概算工事費を算出し、詳細設計の基礎データとする。

案内図



現場写真



現況（案内図①）



現況（案内図②）



現況（案内図③）



現況（案内図④）

新規・重点事業の概要

令和 8 年度

重点事業概要書

まちづくり整備課

道路工務係

事業名

東武越生線第 5 5 号踏切道拡幅改良事業負担金（市場、下川原地内）

事業概要

事業費

253,710千円（うち一般財源116,079千円）

通行の安全性・利便性向上のため、東武越生線第 5 5 踏切道を拡幅する。

概要：東武越生線第 5 5 号踏切道の拡幅改良工事（L=24.0m W=4.8m →10.45m）
工事は東武鉄道㈱が実施し、町は工事費を負担金として東武鉄道㈱に支出する。
当該踏切道は4.8mと狭く、前後の町道とボトルネック形状になっており、また、歩道が設置されておらず、安全面からも対策が必要な状況である。この状態を解決するため、令和 7 年度に毛呂山町と東武鉄道㈱が協定を締結して行った詳細設計に基づき、踏切道の拡幅工事を実施する。

効果：踏切道の拡幅により、車両の交互通行を可能にし、歩道を設置することにより、通行の安全性と利便性を高める。

主な財源

- 踏切道改良計画事業補助金
補助対象事業費253,710千円×55%
×調整(80%) ≒ 110,000千円

案内図



踏切西側の現状



踏切東側の現状

新規・重点事業の概要

令和8年度

新規事業概要書

高齢者支援課

高齢者福祉係

事業名

高齢者補聴器購入費助成事業

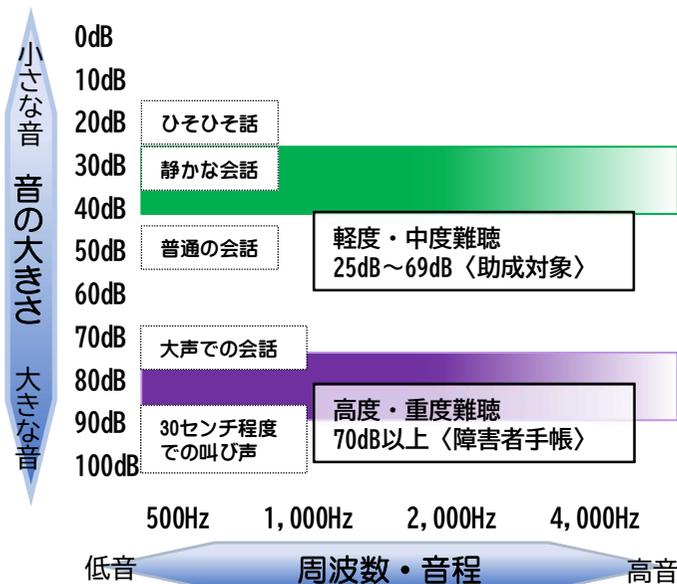
事業概要

事業費

544千円（うち一般財源544千円）

軽度・中等度の難聴により生活に困難を抱える高齢者に対し、家族や地域社会とのコミュニケーションを確保し、孤立・認知症・フレイル等の予防を図るため、補聴器の購入にかかる費用の一部を助成する。

日常生活上の「聞こえ」の程度



「聞こえ」が悪くなると・・・



最近、みんなが何を話しているかよく聞き取れないのよ。
「佐藤さん?」、「加藤さん?」
「1時?」、「7時?」どっちなの?
どんな話をしているかよくわからないことが多いから、
もうみんなの集まりには行かないわ。

◆閉じこもりによる運動機能の低下や
認知症発症のリスクが高くなる。



助成対象者

- ・町内に住所を有し、現に居住している65歳以上の者
- ・聴覚障害による身体障害者手帳交付の対象とならない者で、専門医により補聴器の装用が有効と認められた者
- ・町税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の滞納のない者
- ・過去5年間にこの制度による助成を受けていない者

助成額 30,000円/件（両耳でも同額）

- ・住民税非課税世帯に属する人は30,000円の増額
- ・診療費、文書料、修理費用、電池交換等は助成の対象外

歳出予算要求額（令和8年度）

- ・通信運搬費 3,300円
- ・負担金、補助及び交付金 540,000円
(30,000円×12件) (60,000円×3件)

新規・重点事業の概要

令和8年度

重点事業概要書

企画財政課

企画係

事業名

毛呂山町コミュニティバス運行事業【拡充】

事業概要

事業費

0円 ※本事業に係る経費は令和7年度に支出済みのため、令和8年度の事業費は0円

■運転免許を自主返納した方で、運転経歴証明書をお持ちの方

毛呂山町コミュニティバス
の**無料期間を延長**

これまで
1年間無料



令和8年4月1日から
3年間無料

背景

- 現在の制度は、運転免許証返納後、自家用車に替わる新たな移動手段の一つとして、もろバスを利用する契機として頂くために、平成29年10月から開始した。
- 制度開始以降、高齢者人口が増加し、今後ますます高齢化が進むと考えられる。
- 高齢者が自主的に運転免許証を返納することは、交通安全の観点はもちろん、高齢者自身や家族の不安感解消などの利点がある。
- 埼玉県警察においても、高齢運転者に対して運転免許証の自主返納を促進している。

こうした状況を踏まえ

高齢運転者の運転免許証の自主返納を支援するとともに、毛呂山町コミュニティバスの利便性向上を図る。

3年間無料になる場合の例

- 令和7年10月1日に運転免許を自主返納した場合
→運転経歴証明書の発行日から起算して、3年間（令和10年9月30日まで）は無料で乗車することができる。

ご利用にあたり

- もろバスに乗車される前に、運転経歴証明書を運転手に提示する。
※本事業を利用するにあたり、町への申請は不要

新規・重点事業の概要

物価高騰対応重点支援交付金充当事業

令和8年度毛呂山町一般会計当初予算（案）

FOR THE
FUTURE

新規・重点事業の概要

令和8年度

重点事業概要書

企画財政課

財政係

事業名

水道基本料金無償化事業【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業】

事業概要

事業費

38,872千円（うち一般財源0千円）

物価高騰に直面する家計等の直接的な負担軽減を行うため、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、水道基本料金の無償化事業を実施する。

実施期間

令和8年2月から9月分まで

事業費（歳出予算）

- ・令和7年度補正予算分 117,668千円(2～7月分)
- ・令和8年度当初追加分 38,872千円(8～9月分)

期間及び対象

官公庁を除く、全水栓契約（約18,000件）

基本料金無償化を2ヶ月延長！

実施方法

一般会計から水道事業会計に補助金を交付



水道事業会計において基本料金免除の手続きを実施

基本料金無償化に関する手続きは
必要ありません
減免後の金額で請求書を送付します



新規・重点事業の概要

令和8年度	重点事業概要書	産業振興課	農林係
事業名	農業経営継続支援事業【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業】		
事業概要	事業費	3,304千円（うち一般財源0千円）	

■事業概要

肥料や飼料等の価格高騰の影響を受けている農業経営者の経済的な支援を目的とし、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して農業収入に応じた補助金を交付する。

■補助対象者

町内に住所を有する個人及び町内に事務所又は事業所を有する法人であって、令和7年中の農業収入が15万円以上のもの

補助額	農業収入	補助額	件数	総額
	15万円以上50万円未満	1万5千円	23	345,000
	50万円以上100万円未満	3万円	13	390,000
	100万円以上300万円未満	5万円	28	1,400,000
	300万円以上500万円未満	8万円	7	560,000
	500万円以上	10万円	6	600,000
	合計		77	3,295,000

参考	R6申請件数	R6交付額
	12件	180,000円
	6件	180,000円
	25件	1,250,000円
	5件	400,000円
	8件	800,000円
合計	56件	2,810,000円

※補助金その他、通信運搬費（9千円）を予算計上

新規・重点事業の概要

令和 8 年度

新規事業概要書

産業振興課

商工観光係

事業名

中小企業・小規模事業者賃上支援事業【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業】

事業概要

事業費

16,785千円（うち一般財源1,186千円）

事業概要

毛呂山町の中小企業・小規模事業者のうち賃上げを行った事業者に対し、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、賃上げを実施した従業員数に応じて交付金を支給する。

対象事業者

- ・中小企業基本法第2条第1項各号又は第5項の規定に該当する中小企業・小規模事業者であること。
- ・令和8年1月1日以前より毛呂山町を個人・法人町民税の納税地としていること。

賃上げ要件

- ・対象期間…令和7年1月1日～令和7年12月31日
- ・正規従業員・非正規従業員（パート・アルバイト含）の賃金（基本給）を時給換算し、賃上げ月の前月と比較し上昇していること。
- ・賃上げは定期昇給・ベースアップ問わず、賃上げ前後の賃金が埼玉県最低賃金価格を上回っていること。
- ・申請時点で納期限を迎えた税金の滞納がないこと。

- ※ 法人の場合会社役員は従業員数に含まれない。
- ※ 専従労働者は従業員数に含まれない。

交付金事業費

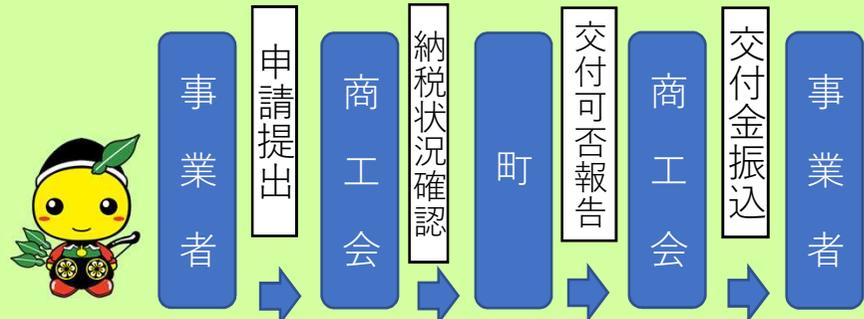
従業員20人以上・・・ 90社×50,000円＝4,500,000円
 従業員10人から19人・ 113社×30,000円＝3,390,000円
 従業員9人以下・・・ 493社×15,000円＝7,395,000円
 事務費（商工会） 1,500,000円

※従業員数は賃上げを実施した従業員数とする。

計 16,785千円

申請の流れ

- ・申請期間：令和8年6月1日～8月末日
- ・交付金の振込みは申請書の受理から2～3週間後を予定している。



令和8年度毛呂山町一般会計当初予算案の概要



毛呂山町マスコットキャラクター
もろ丸くん

FOR THE
FUTURE